7　本時の目標

余りと除数の関係を理解することができる。

8　準備物

丸図（掲示用，児童用）　ワークシート　　ヒントカード

9　展開

| | つかむ・見通す | 解決する | まとめる・ふりかえる |
|---|---|---|---|
| 発問 | ○13÷４を解きましょう。<br>○13÷４＝２あまり５では，なぜいけないのですか。<br>○考えを図で表すとどうなりますか。<br>○あめの数が増えると答えはどうなりますか。<br>○この３つの計算から何か気付いたことはありますか。 | ○あめが 16 こより多くなった時の余りの大きさについて何か気付くことはありますか。<br>○余りの大きさについて図を使って説明しましょう。<br>○わる数が５になると，あまりの大きさはどうなるでしょう。 | ○余りの大きさには，どんなきまりがありますか。<br>○練習問題をしましょう。<br>○ふり返りをしましょう。 |
| 活動 | ○13÷４を解く。<br>○13÷４＝２あまり５の考えがなぜいけないのか考える。<br>○あめの数を増やし，わられる数が 14，15 の時の計算をする。<br>○13÷４，14÷４，15÷４の時の計算を見て気付きを考え，発表する。 | ○あめが 16 こより多くなった時の計算からあまりの大きさに対しての気付きを考え，交流する。<br>○余りの大きさについて図を使って説明する。<br>○わる数を５に変えた時の計算を見て，気付きを考え，交流する。 | ○本時の学習のまとめをする。<br>○練習問題を解く。<br>○学習のふり返りをする。 |

１０／８　あまりのあるわり算

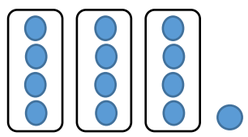
か題　**あまりの大きさには，どんなきまりがあるのだろう。**

問題　あめが１３こあります。
１人に４こずつ分けると，
何人に分けられて，何こあまりますか。

13÷4

式　13÷4＝２あまり５
２人に分けられて，５こあまる。

式　13÷4＝３あまり１
３人に分けられて，１こあまる。



| わる数 | | あまり |
|---|---|---|
| １３÷４ | ＝３ | あまり１ |
| １４÷４ | ＝３ | あまり２ |
| １５÷４ | ＝３ | あまり３ |
| １６÷４ | ＝４ | |
| １７÷４ | ＝４ | あまり１ |
| １８÷４ | ＝４ | あまり２ |
| １９÷４ | ＝４ | あまり３ |
| ２０÷４ | ＝５ | |

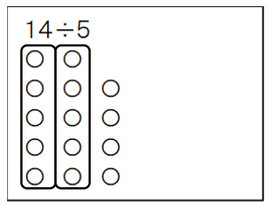
１ずつふえる。
３まで

あまりは４より小さい

| わる数 | | あまり |
|---|---|---|
| １１÷５ | ＝２ | あまり１ |
| １２÷５ | ＝２ | あまり２ |
| １３÷５ | ＝２ | あまり３ |
| １４÷５ | ＝２ | あまり４ |
| １５÷５ | ＝３ | |
| １６÷５ | ＝３ | あまり１ |
| １７÷５ | ＝３ | あまり２ |
| １８÷５ | ＝３ | あまり３ |
| １９÷５ | ＝３ | あまり４ |
| ２０÷５ | ＝４ | |

あまりは５より小さい

まとめ　**あまりは，わる数より小さい。**




練習問題

２１÷５＝３あまり６

この答えはまちがっています。理由を，
きまりを使って書きましょう。

○支援と■評価

○13÷４の誤答を説明させることで，余りの大きさに注目させる。
○問題を解きやすくするために，４の段の九九を使うことを教えたり，ヒントカードとして丸図を用意したりする。
（フォローアップ対象児童への手立て）

○全員で一緒に問題を解いていくことで，計算し，書くことに時間のかかる児童の問題へ取り組む抵抗感を減らす。
（フォローアップ対象児童への手立て）
○表を観察させ，気付きを考える際に，表の除数や余りに枠をしたりして，視覚的に除数と余りの関係をとらえやすくする。
○かけ算の九九表や丸図を用意して，問題に取り組ませやすくする。（フォローアップ対象児童への手立て）

○除数が４，５の時の計算を観察して，余りの大きさについて気付いたことを発表させ，まとめていく。
○練習問題を解きやすくするために，丸図と説明が穴埋めでできるヒントカードを用意しておく。
（フォローアップ対象児童への手立て）
■余りと除数の関係を理解することができる。
（発言・練習問題）
○ふり返りは，学習して分かったこと，友だちの意見を聞いて考えが深まったことなどを書かせる。